

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 248 号 2018.12.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

TOREK 自然農法 頒布会 in 東中野

12月16日(日)、東中野頒布会に行き、多くのことを学びました。

自然農法の作物、加工品を購入することができ、生産者やスタッフと密にふれることのできる、またとない機会に、来場者の自然農法への関心も一層高まったのではないのでしょうか。

長野県から来られたある大学生は、「木島平の甘納豆が大好きなんです」と、買ってすぐに封をあけて食べ、2回の生産者セミナーに参加し、一日中頒布会で時を過ごしていました。また、ある5歳の女の子は先日、高熱で何も口にできなかったところ、堀さんのお米を食べることができ、それによって回復に向かったと、感謝の手紙を堀さんに手渡していました。また、ジョリフィーユの宮澤さん中心に長野県松本で行われた大津屋頒布会のお客さんが、実は食に関心のある東京在住の方で、この日の頒布会にも来られ、宮澤さんとの不思議な再会に喜びあう姿を目の当たりにしました。

養鶏の山本さんと稲作の堀さんのセミナーについては、以下にお伝えします。



●山本由希彦さんの自然卵養鶏！

多くの方が山本さんの自然卵の恩恵を受けています。先日も40代男性が、体調悪く寝込んだとき、自然卵と自然米で乗り越えたとの話を聞きました。

一般の養鶏場の多くは、身動きできないゲージで鶏が育てられ、上段の鶏の糞を下段の鶏がかぶり、殺虫剤がまかれる環境の中、1年中出産できるように電気調整されているとのことです。

一方、山本養鶏場は平飼いであり、通常受ける十数回のワクチンを一切受けず、冬は鶏が春に向けて体を作る時期で、産卵が減るのを自然のままにしています。また鶏は1羽の雄を頂点とした秩序だった社会を好み、それも可能な状態にしているとのことです。結果として、人の健康にやさしい卵になるとのこと。私たちの日々口にする卵、ひいては、私たちは何を食していくべきなのかを考えさせられる内容でした。



●祝米・食味分析鑑定コンクール「金賞」受賞！

11月26、27日、「第20回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in 飛騨」にて、「TOREK 自然農法」の堀さんが栽培した「コシヒカリ」が、めでたく金賞を受賞しました。エントリー数は国内外から過去最多の5717検体、その中からの記念すべき受賞でした。

堀さんは、この受賞によって、無施肥無農薬栽培米の「食味」について、第三者に認められたことを実感していました。そして今度は、どのようにこの栽培方法を生産現場に伝えていくかが重要になってくるとのことです。生産者にとっては、どれくらいの収穫を得られるかが大切で、その点まで実証を重

ねていき、生産者目線で、自然農法をやってみようと思えるように取り組んでいくことが今後の課題と決意を新たにしていました。

しかも、8年前に受賞されたときは、コンテストの様子、時代の流れも変わってきているとのこと。もともと、コンテストの趣旨に、「環境に負荷を与えない。環境を壊さない」という意味があるのですが、その方向に着実に向かっていますし、計らずも、審査過程で機械によって測定される「食味」と「味度」は、極力肥料を入れないほうが通過しやすいとのことで、結果的に参加する農家が肥料の使用を抑えていくことに繋がっているようです。

また、各企業もそれらの点に着目し、例えば、除草しやすい農具を開発したり、企業理念に、食べて健康になるお米、と唱えるところもあり、農家が、経済性か、または環境や健康を求めていくのか、選択すべき時代に入ってきているのではないかとのことです。

また、この数年で自然栽培に切り替えた新潟と山梨の農家の方々と交流会を持ち、米の品種「農林48号」を栽培されている方々ですが、自然農法をいっしょにやっていきましょう、というスタンスで接し、継続した自然農法実施につながっているとのこと。



そして、消費者の温かい声を聞くと、生産者の目の色が変わるようで、この日も5歳の女の子から、熱でもお堀さんの米が食べられた感謝の手紙をもらって、とてもうれしそうに、私たち消費者は消費するとともに、食した生の声を生産者に届けていくべきであることを学びました。(編集部)

いやされるクッキー♪

東京都 阿部さゆり

色々なことが続き、心身共に疲れていたとき、ジョリフィーユの宮澤弥生さんのクッキーを食べました。すると、優しく、おいしくて、いやされて、思わず涙が出ました。こんな体験は初めてで、自分でも驚き、すぐ宮澤さんにお礼を言いたくて、お電話をしました。宮澤さんとても喜んでくださいました。

宮澤さんの人を思う気持ちと、貴重な自然農法の食材で作られている愛情溢れた生産者の方々の想いにふれられた、忘れられない思い出です。

この体験を文章にして、今年の「お歳暮パック」に添えてくださることになりました。とても有り難かったです。このおいしくて、いやされるクッキーを、たくさんの方に食べていただきたいです。



お歳暮パックと、包装されたクッキー

お知らせ

★ 自然農法頒布会 12月26日(水)、1月15日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産：自然米、甘納豆、米粉、干し柿、大根、ブルーベリージャム
- 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ
- 長柄山自然農園：卵、挽肉、鶏ガラ、大根、しいたけ
- 菜園 金野：小松菜、サツマイモ、里芋
- 中島農園：長ネギ、ジャガイモ、ホウレン草、小松菜、梅干
- ジョリフィーユ：お年賀ギフト、プリン、マドレーヌ 他

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>